

科目名	身体障害治療学 II			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
身体機能作業療法学の基礎を理解できる。								
〔授業全体の内容の概要〕								
身体機能障害の治療に関する評価法を確認し、問題点となる障害に合わせた治療手技を学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
「2004年4月～2018年3月末まで急性期（集中治療室）から維持期（在宅支援）のリハビリテーションを提供する病院に所属する。 主な業務は身体障害および高次脳機能障害に対するリハビリテーションを実施していた。また対象分野に関する症例および学会発表。								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
身体機能障害の治療原理を理解し、治療手技を習得する。								
回数	講義内容							
1	身体機能作業療法学の基礎							
2	身体機能障害の治療原理 対象者とセラピストのためのボディメカニクス 運動制御と運動学習							
3	身体機能障害の治療原理 関節可動域の維持・拡大							
4	身体機能障害の治療原理 筋力と筋持久力の維持・増強							
5	身体機能障害の治療原理 筋緊張の異常とその治療							
6	身体機能障害の治療原理 不随意運動・協調運動障害とその治療							
7	身体機能障害の治療原理 知覚再教育							
8	身体機能障害の治療原理 廃用症候群 まとめ							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト身体障害作業療法学 改定第2版		メジカルビュー
標準作業療法学 身体機能作業療法学	岩崎テル子	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

小テスト・定期試験の結果を合わせてテスト点数の評価を行う。レポート課題提出を合わせて評価を行う。
--